

# 精神科医療の最前線で今

## ② 行動しへき(しへき行動症)

慈圭病院病棟医長 田中 増郎



たなか・ますお 山口大学医学部  
卒。2019年11月より慈圭病院に  
勤務。専門は物質使用障害と行動嗜  
癖。医学博士、精神保健指定医、日本  
精神神経学会専門医・指導医。所属  
学会は日本精神神経学会、日本アル  
コールアディクション医学会(評議員)  
、日本アルコール関連問題学会  
(評議員)、日本若手精神科医の会監  
事、こころのバリアフリー研究会、  
国際アルコール医学学生物学会など。

物質使用症およびしへき行動症	
物質使用症	しへき行動症
<ul style="list-style-type: none"> <li>●アルコール</li> <li>●ニコチン</li> <li>●鎮静作用、興奮作用、その他の作用を引き起こす物質</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ギャンブル</li> <li>●ゲーム</li> <li>●その他嗜癖行動を引き起こすもの</li> </ul>

ゲーム障害の診断基準(ICD-11による)
下記の項目で、持続的に反復的な行動の パターンが見られるとゲーム障害の特徴が 出ているとみなす
① ゲームに対する自制が利かない
② 他の生活の中での興味や日常の活動より もゲームを優先してしまう
③ ゲームによって悪い結果が出ているにも かかわらず、ゲームを継続し、またその使 用がより悪化する

個人、家族、教育、職業、またはその他の重要な  
領域に重大な障害をもたらすのに十分なほど深  
刻で、これらの症状が1年以上続いていること  
(重症な場合はもっと短い期間でも良い)  
中山秀紀:スマホ依存から脳を守る。朝日選書。2020より一部改変

統合型リゾート法案(以下、IR  
法)の成立前後から、ギャンブル  
障害という病気が広く報道される  
ようになりました。今回は、その  
行動しへきについて説明します。  
昔からギャンブルで身持ちを崩  
してしまった人たちは多くいまし

た。さまざまな古文書にもそつ  
いた記載があります。彼らは、意  
志が弱いか精神的に未熟な人間  
とみなされてきました。しかし、  
病気であることがわかり、197  
7年に世界保健機関(WHO)に  
「病的賭博」という病名がつけら  
れました。これを機に徐々に認識

が広まり、日本でも2000年頃  
より専門に治療を行う施設が増え  
ています。  
近年、この病的賭博はギャンブ  
ル障害と呼ばれるようになりまし  
た。ギャンブル障害の大まかな定  
義は、ギャンブル(賭博)によっ  
て生活の障害や苦痛があり、自分  
自身がやめた方がいいとわかって  
いるにもかかわらずやめることが  
できない状態、とされています。  
借金を繰り返してまでギャンブル  
をしてしまう、という行動を耳に

することがあるかと思えますが、  
これはまさにこの病気の症状で  
す。はた目ではわかりづらく、な  
かなか周りからの理解が得られな  
いことが特徴の一つです。  
19年には「物質使用症群または  
しへき行動症群」の一部として、  
ゲーム障害もギャンブル障害も同  
じ精神科の病気としてWHOに認  
められました。ゲーム障害は、ゲ  
ームをすることに自制が利かなく  
なり、生活に支障をきたしてしま  
った状態となります。

ギャンブル障害の生涯有病率  
は17年の調査で3.6%と推計さ  
れており、諸外国の中では比較的  
高い数値となっています。さらに、  
日本国内にカジノを作ることで  
きるIR法が成立したため、今後  
この病気にかかる人が増える可能  
性があると懸念されています。  
一方、ゲーム障害は17年の全国  
調査で中高生の間の93万人が該当  
すると言われています。  
しへき行動症の一般的な治療と  
しては、精神療法という精神科医  
による面接や、集団療法などがあ

り、新たに治療プログラムが開発  
されています。ギャンブル障害の  
場合は、ギャンブラーズ・アノニ  
マス(GA)という自助グループ  
(同じ病気にかかり、その病気から  
回復するために集まっている会)  
への参加も有効とされています。  
アルコール依存症や薬物依存症  
など物質使用障害を抱える患者の  
多くは人を信頼することが苦手  
で、孤独感を感じやすい傾向にあ  
ると言われています。ギャンブル  
障害も同じような精神状態を抱え  
ている場合が多いようです。ゲー  
ム障害についても同様で、「コミュ  
ニケーションの方法を変えると改  
善するなど」といった事例がありま  
す。  
ギャンブル障害やゲーム障害と  
いった行動しへきのように、一見  
病気に見えない厄介で深刻な病気  
も存在します。お困りの際は医療  
機関や精神保健福祉センターにご  
相談ください。

◇ 慈圭病院(086-262-1191)